

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

抗 vascular endothelial growth factor (VEGF) 抗体薬治療導入後の
未熟児網膜症に対する治療の動向に関する研究

1. 研究の対象

2019年11月1日から2024年10月31日の間に、当院で未熟児網膜症に対する眼科的治療（網膜光凝固、抗 VEGF 療法）を受けられ、かつ初回治療後1年以上経過している方。

2. 研究実施期間

機関の長の許可日から 2027年12月31日 まで
24,12,28

3. 研究目的・方法

目的：診療情報（カルテ）を利用し、日本で未熟児網膜症に対し抗 VEGF 抗体薬による硝子体注射による治療（抗 VEGF 療法）が承認された以降の治療の動向について、以前からある網膜光凝固（レーザー治療）と比較します。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報等：性別、診断名、出生状況（週数・体重）、全身状態（酸素投与、輸血、呼吸窮迫症候群、脳室内出血の有無）、治療時の病期・修正週数、治療内容、治療効果、再燃の有無、有りの場合の治療法と時期、合併症の有無、有の場合の対処法

5. 情報の提供先・提供方法

単施設研究であり、外部に情報を提供することはありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：5253）

研究責任者 眼科 中川 喜博

問い合わせ担当者 同上